

総合防災訓練に参加し、避難所設営訓練や炊出し等の体験活動を行ったりした。

② 福祉学習

「ふるさとや環境について考える」をテーマに、地域に関する調査や探究の過程を通し、主体的に学ぼうとする態度や学び方を身に付けた。また、気仙沼の福祉の現状などについての調査や交流活動、表現活動を通して、地域の人々と触れ合い、より深く関わりをもち、郷土を愛する気持ちを育てた。

③ 地域復興学習

「地域の産業や暮らしを考える」をテーマに、職業に関する調査や体験活動、表現活動を通して、主体的に学ぼうとする態度や学び方を身に付けた。また、地域での職場体験をすることによって、産業と向き合いながらそれらを支える人々の生活や生き方に触れ、人と関わり、人から学ぶ力を育てた。

さらに、「社会のためにできることを考える」をテーマに、防災教育の観点から課題を選び、調査活動や体験活動、表現活動を通して、主体的に行動する実践的な態度を身に付けることができた。

これらの防災学習を通して、地域の一員としての自覚をもち、今後の鹿折地区、しいては気仙沼の復興など、より意欲的に社会と関わりをもとうという気持ちが育まれた。



① 防災学習のまとめ(壁新聞)



① 救命救急講習(2学年)



② 福祉施設訪問(1学年)



③ ふるさと学習(3学年)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (地域復興)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他 (自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

防災学習副読本や防災学習シートを使用した。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

ユネスコスクールとしての活動を総合的な学習の時間の年間指導計画に位置付け、計画的に実施している。また、各学年の段階に応じて防災学習のテーマ等を設定し、1学年では、校外学習を通して、自分の住んでいる地域の特色や現状について理解を深めるとともに、職業調査をきっかけに、自己の将来や地域の未来を考えること、2学年では、地域で職業体験することで、産業と向き合いながら、それらを支える人々の生活や生き方に触れ、人とかわり、人から学ぶ力を育むこと、3学年では、社会生活や生き方についての考えを深め、自己の進路を考えたり、震災から復興に関わる「まちづくり」について考える活動や交流を通したりして、地域の一員としての自覚を育成することをねらいとし、位置付けている。指導の工夫では、生徒が主体的に課題を発見・設定し、学習や体験を通して追究し、分かりやすくまとめたり、伝えたりする力を育む指導を実践している。

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校では、年間指導計画に防災学習等を明確に位置付けることで、組織的かつ継続的に取り組める体勢づくりを目指している。防災学習では、学年別の学習が基本となるが、年度初めに、全校一斉でガイダンスを行うことで、生徒に見通しをもたせ、計画的に学習に取り組めるようにしている。体験的な活動を通して、他学年とのふれあいや自分の意見を伝え合い、学び方やものの考え方を身に付けるとともに、防災意識の向上と自他の安全を確保する行動を主体的にとろうとする態度を育んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校運営反省会や学校評価の話合いで取り上げ、活動の内容を振り返り、意見交換することで質の向上を図った。そうすることで、全職員で活動のさらなる向上を目指し、取組に対する職員一人一人の意欲付けにつながった。課題は、ユネスコスクールの活動と ESD の活動がほとんど同じものとなっている部分があり、両者の差異について十分理解している職員が少ないことが挙げられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

日頃から取り組んでいる防災学習の知識や技能を、今年度は気仙沼市の総合防災訓練で実践することで、関係諸機関や地域の方々に学習の成果を見ていただいた。また、この活動を通して学んだ内容を、学級毎に壁新聞としてまとめ、公民館に掲示するなど、地域の方々に情報を発信した。また、文化祭では、ESD の取組から学んだことを寸劇で発表し、保護者の方々や地域の方々に学習成果を発表した。これらの発信活動を通して、生徒は学習を振り返ることができ、知識や技能の定着につながった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

気仙沼市立鹿折小学校や鹿折まちづくり協議会と連携を図った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流等はなかった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

生徒が主体的に防災学習等に取り組むことで、有事における「自助・共助・公助」を学ぶとともに、防災に対する知識や技能を深め、危機管理意識を向上させることができた。また、気仙沼市総合防災訓練や地域交流、防災講話等を通して、復興の現状を知るとともに、今後の復興に向けた意欲付けにつながった。教員間では、ユネスコスクールの活動により、ESD の趣旨が浸透し、日常の指導等に役立てられるようになった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

次年度においても防災学習を中心に進め、生徒主体の話合いや体験活動を積極的に取り入れていきたい。また、年間指導計画においては、指導内容を適切に定め、さらに指導方法の工夫・改善を図っていきたい。その他として、総合的な学習の時間を中心とした、教科の横断的な指導計画を立てたり、防災学習やふるさと学習の場面では、地域の人材や学習素材、及び関係諸機関をより活用できるような計画を立案したりしていく必要がある。上記の内容を実践し、生徒が地域に愛着を持てるようなカリキュラムを組み立て、地域に貢献できる人材を育成できるようにしたい。また、鹿折小学校との連携をさらに強め、義務教育9年間を見通した防災教育計画を考えていきたい。